

施設用床材

Sフロア
発売再開
しています！



sangetsu

日装連新聞

1月号 2026/令和8年 No.584

発行所

日本室内装飾事業協同組合連合会
Japan Interior Decoration Association (JIDA)

〒105-0013

東京都港区浜松町2-6-2 浜松町262ビル2階
Tel(03)3431-2775 Fax(03)3431-4667

月刊●毎月15日発行●購読料 年間2,400円 1部200円

迎春 2026



年頭のご挨拶

日本室内装飾事業協同組合連合会

理事長 宮本 外次



令和8年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は当連合会事業へ格別のご支援とご協力を賜りましたことに心より御礼申し上げますとともに、皆様のお力添えをもちまして新しい年を迎えることができましたことに深く感謝申し上げます。

変化を好機と捉えて 新たな価値を創造する1年に

昨年を振り返りますと令和7年の日本経済は緩やかな回復を続けたものの資材価格の高止まり、円相場の不安定化、さらには人手不足の深刻化など依然として先行きが不透明な一年でございました。

観光需要の回復に伴うホテル・商業施設の改装需要、公共施設整備の継続など、確かな市場機会も見られるなど業界にとって前向きな動きを感じられ、加えて断熱改修・省エネ対策の普及や環境配慮型素材への関心の高まり、デジタル計測・施工管理ツールの導入など、業務の効率化と高度化に向けた取り組みが全

なる周知を図るとともに、レベル1から2、そして2から3・4へとステップアップするための資格取得を推進してまいります。例えば、登録内装仕上工事基幹技能者、各職種技能検定など当連合会が進めている各種資格事業の更なる周知を図り、技能者個人の技能の見える化を推進してまいります。資格はこれから入職してくる若手技能者の将来の指標として目指すべきものを明確にするメリットがあると思っております。近い将来、前述したCCUS能力評価制度のレベル別モデル年収が反映される環境が醸成され、収入が確保できる業界・職種となることを願い、資格取得の周知を図り、PRを進めてまいります。

でございます。

一方で入職者を受け入れる側の事業者の皆様の健全な経営基盤を構築していくことも重要な課題となります。資材費や物流費の上昇分はもちろんのこと、労務費や法定福利費・安全衛生費も含めた標準見積書への計上を訴えていき、価格転嫁がしっかりと行われ正当な対価が得られる環境作りへ微力ながら取り組んでまいります。

さらに国土交通省認定の住宅リフォーム事業者団体である(一社)日装連リフォーム推進協議会(日リ協)のPRも継続しておこなってまいりますので、「安心・安全な暮らし」を提供できる事業者としてさらなる提案の幅を広げ、ご自身のビジネスに役立てていただけますと幸いです。

令和8年は、我々の業界にとってさらなる転換期となることが見込まれます。持続可能性や省エネ性能の向上、デジタル化の進展、労働環境改善の必要性など、さまざまな変化を好機と捉え、新たな価値を創造し皆様とともに前進してまいりたいと存じます。

結びに、本年が皆様方の更なる飛躍と発展の一年となりますよう、またご健勝とご多幸が一路深まることを心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

主なニュース

2・3面 関連省庁・団体年頭のご挨拶

4面 日リ協コラム60
談話室 大分組合副理事長

8面 最前線探訪105 九州ブロック

Arts & Crafts designs from
Morris Design Studio

Made under license in JAPAN

受け継ぐ、そして紡ぐ

— Morris Design Studio —

株式会社川島織物セルコン

<https://www.kawashimaselkon.co.jp>

弊社ホームページの「お問い合わせ」よりメールにてご連絡ください。

川島織物セルコンは、
エコ・ファースト企業に
認定されました。

ECO
FIRST

ショールーム showroom

■東京ショールーム

〒135-0061
東京都江東区豊洲五丁目6-15
NBF 豊洲ガーデンフロント6F
TEL:03-5144-3980

■大阪ショールーム

〒530-0011
大阪府大阪市北区大深町4-20
グランフロント大阪タワーA 12F
TEL:06-6733-1310

■札幌ショールーム TEL:011-738-1700

■さいたまショールーム TEL:048-658-2312

■名古屋ショールーム TEL:052-300-8473

■福岡ショールーム TEL:092-452-8118



Use on web

2026年
年頭のご挨拶

5つの繊維産業政策に取り組み

経済産業省 製造産業局生活製品課長

渡邊 宏和氏



令和8年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶び申し上げます。

世界では、米国の関税措置や、米中欧をはじめ各国による自国優先の大規模な産業政策の展開など、自由主義経済に代わる新たな国際秩序が生まれようとしています。国内に目を向けると、昨年は賃上げや国内投資が約30

年ぶりの高水準となり、名目GDPも初めて600兆円の大台を超えるなど、日本経済に明るい兆しが現れています。また、繊維産業においても輸出が増加傾向にあること、昨年を上回る賃上げ率となったこと、そして我が国から世界初となる技術開発への試みが開始されるなど様々な変化がみられました。

また、「大阪・関西万博」は、大変な盛況を博しました。中でもパビリオン展示やスタップユニフォーム等に

住（ライフスタイル）を担う根幹の産業で

適正な労務費確保のための施策を推進

国土交通省

不動産・建設経済局
建設振興課長

山岸 浩一氏



新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

日本室内装飾事業協同組合連合会及び会員・関係者の皆様には、平素より国土交通行政、とりわけ建設産業行政の推進について

格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

内装仕上工事業は、建築物の居住性やデザイン性を高める役割を担う、建築工事には欠かせない業種であり、暮らしの安全と豊かさ

す。我が国の繊維産業は、これまで厳しい国際競争で培われてきた卓越した技術力、繊細な表現力により、私達の日々の暮らしの質をより良くし、生活文化を発展させることができる産業です。繊維産業の宝である職人の洗練された技術、芸術性、創造性は世界からも高く評価され、革新的な製品を生み出す力として期待されています。

今年、繊維・アパレル業界にとって、新たな挑戦の年になると考えています。我が国の繊維産業が創造する素晴らしい価値をさらに高め、次世代に引き継いでいくためには、輸出拡大も含めた成長戦略、産業の国際競争力強化の重要性がますます高まっています。業

界が一丸となって解決すべき課題に果敢に立ち向かえるように、経済産業省としても、今後、5つの繊維産業政策を産学官の力を結集して推進してまいります。

第一に、価格転嫁・取引適正化の徹底に向けたさらなる後押しです。我が国の繊維産業の持続的な成長や労働環境整備のためには、適正な取引、適正な利潤の確保は不可欠です。しかしながら、エネルギーや原材料価格の高騰等により製造コストは上昇しているにも関わらず、価格転嫁が十分に進んでいない繊維企業が存在し、一部では歩引きが残っている実態があります。適正な取引、適正な利潤の確保ができれば、

更に、賃上げの原資となり、人手確保の切り札にもなります。そうした中、昨年度の通常国会で改正した「中小受託取引適正化法（取適法）」・受託中小企業振興法（振興法）」が本年1月1日に施行されました。今回の改正により、適用対象となる取引や事業者の範囲が拡大され、中小受託取引の公正化と受託側の中小企業の利益保護が強化されます。これを踏まえ、改訂が予定される「繊維産業の適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画」「繊維業界における適正取引に向けた自主行動計画」の徹底プラン」「パトナーシップ構築宣言」等の実施徹底について業界と連携してま

場のオートメーション化に向けてのICTの活用促進についても、改正法において重点的に取り組むべき事項と位置づけられています。昨年3月には、「働き方改革の実現に向けた効率的な建設工事の促進事業事例集」を国土交通省HPにて公表いたしました。現場ICT、バックオフィスシステム活用などの観点から、モデル事業で得られた元請・下請両者の様々な工夫をまとめておりますので、効率的な働き方に向けて、こちらもぜひ

「活用いただけますと幸いです。建設業が技能や経験に見合った賃金支払いの実現を通じて、将来の見通しが持てる、若者に入職したいと思われる産業となるよう、これからも皆様とともに取組を進めてまいります。今後、こうした各主体による連携した取組を後押しし、国内の繊維産業における外需の獲得を後押しできるよう検討を続けてまいります。

最後に、サステナビリティへの対応です。サステナビリティの取組は企業の競争力強化の観点からも重要な課題です。すでに欧州等の一部のアパレル企業においては、自社の人権や環境に配慮した取組を証明するため、第三者の認証機関が担保する国際認証の取得が進んでおり、今後、国際社会においてサステナビリティ確保に向けた法整備や対応等が進展する中、我が国の繊維企業がグローバルに産業競争力を維持・強化していくためには、企業による環境配慮や人権尊重に向けた取組が不可欠です。経済産業省では、2024年に策定された「繊維製品における資源循環ロードマップ」に基づき、官民の連携を通じて様々な取組を推進しております。例えば、衣料品のリサイクルについては、国内繊維メーカーを中心とした連携による複合品の分離・リサイクル技術の研究開発・実証事業が、「バイオものづくり革命推進事業」に採択され、昨年10月には繊維の資源循環の実現に向けたコンソーシアムも設立されました。また、環境配慮設計の推進については、一昨年策定した「繊維製品の環境配慮設計ガイドライン」の普及及びJIS、ISO化に向けた取組等

れた特定技能制度における追加要件のうち「国際的な人権基準に適合して事業を行うこと」への対応として、令和7年3月に、日本の繊維産業の監査要求事項・評価基準である「JASTI（Japanese Audit Standard for Textile Industry）」を策定し、同年4月から第三者監査制度として運用を開始しました。特定技能1号外国人の受入れが進んでいることを踏まえ、熟練した技能を要する業務に従事する外国人材の今後の受入れの在り方について、検討してまいります。また、令和9年度から技能実習制度に代わって人手不足分野における人材の育成・確保を目的とする育成就労制度においても、特定技能制度で課されている追加要件が課される見込みとなっており、育成就労制度へ円滑に移行できるよう、業界の皆様と連携しつつ、準備を進めてまいります。さらに、人手不足に悩む中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするため、中小企業省力化投資補助金やものづくり補助金による生産設備の自動化等の支援策を用意しています。こうした取組を通じて、繊維産業における人材不足の解消と持続可能な成長を目指してまいります。

最後に、貴連合会始め、我が国の繊維産業が大きな変革の時代を乗り越え、飛躍する一年になることを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

技能を尊重する機運醸成を図る

厚生労働省

人材開発統括官付
能力評価担当参事官

飯田 明子氏



新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。貴連合会におかれては、内装仕上げ施工職種等に関する「技能検定試験」の実施への御協力を含め、人材開発行政への多大なる御理解と御協力をいただき

ており深く敬意を表します。令和6年度には約3300名の方々が内装仕上げ施工技能士として誕生し、御活躍をされております。技能検定制度のさらなる発展に引き続き御協力を御願ひ申し上げます。さて、2028年には21年ぶりに日本（愛知県）で技能五輪国際大会が開催されます。同大会は、青年技能者を対象に開催される

後とも成長を続けていくためには、我が国の産業の基幹となるものづくり分野における生産性の向上、人への投資がますます重要となります。このため厚生労働省では、次世代を担う若者の技能習得や、技能尊重の機運醸成を図っていくことが重要と考えています。例を申し上げますと、高い技能・経験を有する技能者を「ものづくりマイスター」として認定し、若年技能者に対する実技指導を行う事業を実施しています。「内装仕上げ施工



一般社団法人建設産業専門団体連合会 会長

岩田 正吾氏

職種」でも約310名の方々に活動いただいていると承知しています。この場を借りて厚く御礼申し上げますとともに、引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。厚生労働省としても、これから人材開発に係る諸施策を一層充実させてまいりたいと考えています。ので、今後とも変わらぬ御理解・御協力を御願ひ申し上げます。結びに、皆様方の益々の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

日本は四季を感じられることなく夏と冬の二季となってしまうような昨年は、猛暑の中での現場作業となりました。健康管理・安全対策に苦慮する経営者や就職活動の若者の目に、暑い中頑張る建設従事者ではありましたが、雇用主は熱中症の心配をし、就活中の若者には尊敬はされながらも率先して飛びこんで行こうと思う世

界には映っていないかったのではないでしょう。他産業より更に高い給与を提示しても、新卒者が採用できないという声が大きくなってきました。現状の4週6休の休暇条件も足を引っ張っています。こうした中、昨年12月改正建設業法が完全施行され「標準労務費」が公表されました。建設業で働く、特に職人層の賃金を上げる装置

として大きな期待をしている一方で、装置を円滑に稼働させるのは建設業界に課せられた責務であり、正しく利用して業界内の賃金を上げ、持続可能な安定した建設業の姿を作り上げて行かなくてはなりません。請負である建設業は、仕事があってもなほの世界ですが、きつい仕事を職場とする職人を目指す人は減って、仕事があってもや

建設産業の動向に応じた事業を実施

一般財団法人建設業振興基金 理事長

谷脇 暁氏



明けましておめでとうございます。2026年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。建設産業を取り巻く状況は、深刻化する担

また、技術革新の波も加速しています。AIの活用をはじめとするデジタル技術の進展により、建設現場やバックオフィスにおけるDXが進み、業務効率化や生産性向上、長時間労働の是正や週休2日などの働き方改革の推進にも大きく寄与

るべく、建設産業人材確保・育成推進協議会の運営や建設キャリアアップシステム（CCUS）の運営をはじめとする担い手確保・育成事業、建設産業団体や建設企業の経営基盤を強化するための経営改善支援や情報化推進支援、債務保証等の金融支援、建築及び電気

また、技術革新の波も加速しています。AIの活用をはじめとするデジタル技術の進展により、建設現場やバックオフィスにおけるDXが進み、業務効率化や生産性向上、長時間労働の是正や週休2日などの働き方改革の推進にも大きく寄与

身の回りの防災化がますます重要に

公益財団法人日本防災協会 理事長

清水 洋文氏



令和8年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日本室内装飾事業協同組合連合会の会員の皆様におかれましては、平素から防災の重

炎思想の浸透に、尽力いただいております。とに衷心より敬意を表します。

併せて、当協会の事業に対しまして格別のご支援を賜っておりま

例え、アメリカではマットレスや一般衣料品、とりわけ子供の寝衣（パジャマ等）は可燃性繊維物の厳しい規制を受けます。また、英国ではマットレス、ソファ、ベッド、クッション、枕等や子供用の寝衣（ネグリジエ等）が消費者保護法により規制を受けま

最後に、今年が災害の少ない平穏な年となりますよう、また日本室内装飾事業協同組合連合会の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

記事は「次世代のシート素材を見極めていくことが、当社の使命です」との西岡社長のコメントで締め括られている。

年末には改正建設業法が完全施行され、一連の第三次担い手3法が

建設産業におけるデジタル化、DXを後押しするために、建設業のバックオフィス業務におけるDX推進への支援を行なうなど、建設産業の動向に応じた新

同組合連合会の会員の皆様におかれましては、平素から防災の重要性を深く認識され、その品質の維持向上や

同組合連合会の会員の皆様におかれましては、平素から防災の重要性を深く認識され、その品質の維持向上や

同組合連合会の会員の皆様におかれましては、平素から防災の重要性を深く認識され、その品質の維持向上や

同組合連合会の会員の皆様におかれましては、平素から防災の重要性を深く認識され、その品質の維持向上や

同組合連合会の会員の皆様におかれましては、平素から防災の重要性を深く認識され、その品質の維持向上や

同組合連合会の会員の皆様におかれましては、平素から防災の重要性を深く認識され、その品質の維持向上や

同組合連合会の会員の皆様におかれましては、平素から防災の重要性を深く認識され、その品質の維持向上や

同組合連合会の会員の皆様におかれましては、平素から防災の重要性を深く認識され、その品質の維持向上や



「信頼と品質を世界に届け続ける」

ロンシール工業

約100年にわたり、信頼と品質を世界に届け続けている「この見出しで、日本では開業以来の新幹線用床材の採用、また米国の救急車用床材はトップシェアを誇っていることなどが紹介されている。また、次世代素材の開発にも注力し、放射冷却技術を応用した防水シートは脱炭素化への貢献が期待される。

記事は「次世代のシート素材を見極めていくことが、当社の使命です」との西岡社長のコメントで締め括られている。

日ID社内検定合格者発表

1級27名、2級5名が合格

日装連日ID・教育資格委員会（大石伸二担当副理事長・鈴木公和委員長）は、このほど「2025年度日装連インテリアデコレーター社内検定」の合格者を発表した。



組合別合格者数					
組合名	1 級	2 級	組合名	1 級	2 級
北海道	2 名	—	三 重	2 名	—
岩 手	1 名	—	京 都	1 名	—
山 形	2 名	—	大 阪	3 名	—
福 島	2 名	1 名	兵 庫	2 名	—
群 馬	1 名	—	鳥 取	3 名	1 名
埼 玉	0 名	—	岡 山	0 名	—
東 京	1 名	1 名	広 島	1 名	—
神奈川	—	0 名	山 口	0 名	—
富 山	—	0 名	香 川	0 名	—
石 川	1 名	2 名	福 岡	1 名	—
愛 知	3 名	—	熊 本	1 名	—
合 計			27 名	5 名	

談話室

この内装業界に入りまして55年になります。

私の生家は襖店を営んでおり、幼い頃より父がやっていた襖や障子張りの手伝いをしていました。父は、私には勉強より手に職を付ける方が向いていると思っていたようです。学校卒業後、父の知り合いの表具店に職人見習いとして入り、この時の社長が努力と工夫

人とのつながりの大切さ

大分組合副理事長 岩佐昭彦

に優れた師匠だったので多くの事を学ばせて貰いました。今の私でも、まだまだ遠く及びません。

36歳で独立し現在に至っており、平成14年から平成18年まで会長職を務めさせていただきました。この時から仲間のつながりは深く、今でも関係が続いております。全国の組合でも組合員の減少にともない青年部活動がままならない県があると聞

ます。私は良い人生を送って幸せだと感じています。

私は、平成4年に創立した大分組合青年部会の創立メンバーであり、平成14年から平成18年まで会長職を務めさせていただきました。この時から仲間のつながりは深く、今でも関係が続いております。全国の組合でも組合員の減少にともない青年部活動がままならない県があると聞

日リ協コラム 60

あらためまして、日リ協です。

自己紹介編

「日リ協ってなんだっけ?」「我々が入会できるの?」というお声は少なからずございます。これひとえに、協議会本部の周知活動と工夫が足りないからです……。そこで、新年を迎えたこともあり、末広がりを感じさせる創立8年目がウマくいく年であると信じ、あらためて日リ協のご紹介をさせていただきます。

どういう団体なの?

国土交通大臣から「リフォーム事業者団体登録制度」への認証を受けた「住宅リフォーム工事を安心して任せられる事業者」で構成された団体です。会員は日装連傘下の全国単組の組合員さん（一部、員外あり）約130社で、住宅リフォーム工事の拡大強化や情報収集のために入会されています。

最大のメリットは?

「住宅リフォームに関する情報」がさまざまなジャンルで獲得できることです。市場、商材・技術、経営・営業手法など、会報紙やセミナー、会員同士の交流の場などで得られることで、自社の事業にエッセンスを加えることができるでしょう。

登録制度ってなに?

国は住宅リフォームと中古住宅流通の市場拡大を図っており、優良で信頼できる工事業者を、登録団体を通じて消費者に知らしめるものです。つまり、国交大臣認証の登録団体に所属している工事業者は信頼できます!と、国が示しているのです。

いたことがあります。しかし、若いうちに積極的に人脈作りに励んでいただきたいと思います。

昨年11月、東京ビックサイトで行われた全国青年部代表者会議では3県の出前授業の実施報告があり、当県からも数名の青年部会員が出席しました。今後の活動に、とても参考になったと聞きました。頼もしい限りです。

内装業界に携わっている若い皆さん、人との出会いは楽しいものです。組合活動を通じて同じ職業の楽しみや苦勞を共有し、ぜひとも、この業界を盛り上げていってください。

登録内装仕上工事基幹技能者講習

岡山、神奈川会場で計8名が合格

日装連・全室協・ジェインシフで運営する登録内装工事基幹技能者推進協議会は、登録基幹技能者試験・講習委員会を開催し、先般実施した「登録内装仕上工事基幹技能者講習」の岡山会場、神奈川会場の合否判定を行った。その結果、日装連関連では、岡山会場で5名、神奈川会場で3名、計8名が合格した。

日装連関連の合格者

(敬称略)

岡山会場

氏名	会社名	所属組合
竹内 誠	(株)マルケン装飾	広 島
丸山 孝	(有)インテリア・タカダ	岡 山
三宅 幸雄	三宅建装	岡 山
田中 徳行	TN 内装	岡 山
前川 貴正	インテリア前川	岡 山

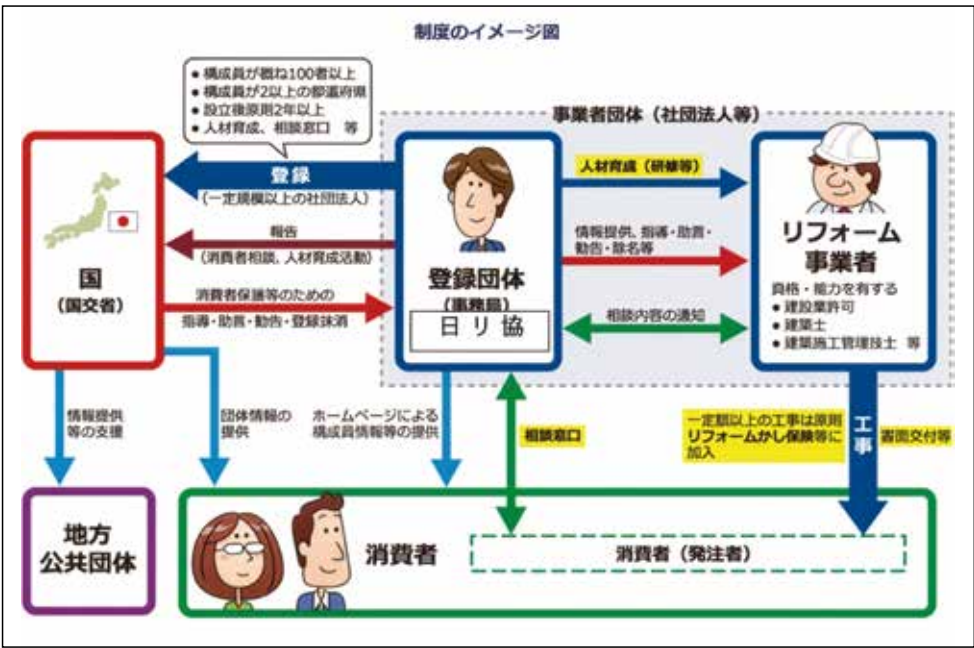
神奈川会場

氏名	会社名	所属組合
下村 銀次	(株)リモア	熊 本
中村 仁弥	M-Richesse	熊 本
森山 清俊	(株)スタイルワン	東 京

会員登録になったらやるべきことは?

事業本部からのアンケート調査への回答、年1回以上の研修会への出席(可能な範囲で)

日装連、または日リ協



▲図1 リフォーム事業者団体登録制度の全体像

図2 国土交通大臣マーク▶



いいので、請負額500万円超の工事での瑕疵保険制度説明、以て難しいことではありません。

以上、長々のご説明いたしました。このことと「内装業界みんなでリフォームやりましょう!!」です。地元で愛され、お客様に喜ばれる事業者になるにはインテリアリフォームです。ぜひ前向きなご検討をよろしくお願い申し上げます。

協へ電話・メール・FAX等でご一報ください。ご連絡いただいた方に資料一式をご郵送いたします。ご提出いただく書類は、入会申込書、建設業許可証写真(建設業許可を得ていない場合は入会後3年以内に取得してください)、建築施工管理技士又は建築士の証書写しです。

2026年謹賀新年



公益財団法人 日本防災協会

理事長 清水 洋文

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町四一―一五
FAX 電話(〇三)三二四六一六六一
FAX 電話(〇三)三二七一一六九二

日本クリーナーズ防災協会

理事長 大内 貴

〒183-0056 東京都府中市寿町三一―二一〇
FAX 電話(〇四二)三六四一七二二四
FAX 電話(〇四二)三六四一七二五二

シンコールインテリア 株式会社

代表取締役 市川 浩

〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目四番二六号
FAX 電話(〇三三)三四〇四一八八四
FAX 電話(〇三三)三四〇四一三五八

株式会社 龍村美術織物

代表取締役 龍村 育

〒615-0022 京都府京都市右京区西院平町二五
FAX 電話(〇七五)三二五二五八〇六
FAX 電話(〇七五)三二五二五八〇六

ヤヨイ化学販売 株式会社

代表取締役 二口 真

〒174-0042 東京都板橋区東坂下一一〇一七
FAX 電話(〇三三)五九三九一八四一三
FAX 電話(〇三三)五九三九一八五六六

一般社団法人 日本インテリア協会

会長 永嶋 元博

〒105-0012 東京都港区芝大門二一―一七
FAX 電話(〇三三)三四三三―四五二一
FAX 電話(〇三三)三四三三―七八六〇

株式会社 岩崎貞三商店

代表取締役 岩崎 信一郎

〒590-0011 大阪府堺市堺区香ヶ丘町四一―四一
FAX 電話(〇七二)二二八―七二〇一
FAX 電話(〇七二)二二八―七二〇八

SUMINOE 株式会社

代表取締役 永田 鉄平

〒542-8504 大阪府大阪市中央区南船場
FAX 電話(〇六六)六二五―一七八七九
FAX 電話(〇六六)六二五―一七八七九

東リ株式会社

代表取締役 永嶋 元博

〒664-8610 兵庫県伊丹市東有岡五一―二二五
FAX 電話(〇六六)六四九四―六六五五
FAX 電話(〇六六)六四九四―六六五五

吉野石膏 株式会社

代表取締役 須藤 永作

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三一―三一
FAX 電話(〇三三)三二一―四一五九
FAX 電話(〇三三)三二一―四一五九

一般社団法人 日本壁装協会

理事長 柏瀬 功次

〒105-0001 東京都港区虎ノ門三一―七七八
FAX 電話(〇三三)五四〇八―五五〇一
FAX 電話(〇三三)五四〇八―五五〇一

ウォールボンド工業 株式会社

代表取締役 泉谷 憲一郎

〒370-0603 群馬県邑楽郡邑楽町大字中野一三〇
FAX 電話(〇二七六)八八―二六八六
FAX 電話(〇二七六)八八―二六八六

株式会社 スミノエ インテリアプロダクツ

代表取締役 村瀬 典久

〒550-0013 大阪府大阪市西区新町二―四一
FAX 電話(〇六六)六五三七―六三〇一
FAX 電話(〇六六)六五三七―六三〇一

トキワ工業 株式会社

代表取締役 平井 新吾

〒559-0031 大阪府大阪市住之江区南港東
FAX 電話(〇六六)六六一―三七七〇
FAX 電話(〇六六)六六一―三七七〇

リック 株式会社

代表取締役 村山 としき

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町三一―三〇
FAX 電話(〇六六)六三一―三〇一三
FAX 電話(〇六六)六三一―三〇一三

一般社団法人 建設技能人材機構

理事長 三野輪 賢二

〒105-8444 東京都港区虎ノ門三一―五一一
FAX 電話(〇三三)六四五三―〇二二〇
FAX 電話(〇三三)六四五三―〇二二〇

株式会社 川島織物セルコン

代表取締役 光岡 朗

〒601-1192 京都府京都市左京区静海市原町
FAX 電話(〇七五)七四一―四一〇八
FAX 電話(〇七五)七四一―四一〇八

タキロンマテックス 株式会社

代表取締役 鵜澤 将道

〒105-0014 東京都港区芝三―八一
FAX 電話(〇三三)五四二七―二七一〇
FAX 電話(〇三三)五四二七―二七一〇

トソー 株式会社

代表取締役 八重島 真人

〒104-0033 東京都中央区新川一―四一九
FAX 電話(〇三三)三五五二―一〇一九
FAX 電話(〇三三)三五五二―一〇一九

リリカラ 株式会社

代表取締役 山田 俊之

〒160-8315 東京都新宿区西新宿七―五二〇
FAX 電話(〇三三)三三六六―七八二五
FAX 電話(〇三三)三三六六―七八二五

一般社団法人 日本内装仕上技能士会連合会

会長 本間 健治

〒252-0802 神奈川県藤沢市高倉九九七―四

株式会社 サンゲツ

代表取締役 近藤 康正

〒451-8575 愛知県名古屋市中区堀下一―四一
FAX 電話(〇五二)五六四一―三三二一
FAX 電話(〇五二)五六四一―三三二一

田島ルーフィング 株式会社

代表取締役 松原 幸雄

〒101-8575 東京都千代田区岩本町三一―一三
FAX 電話(〇三三)五八二一―七七一
FAX 電話(〇三三)五八二一―七七一

株式会社 ニチベイ

代表取締役 麻井 博行

〒103-0027 東京都中央区日本橋三一―一五
FAX 電話(〇三三)三三七二―一〇一七
FAX 電話(〇三三)三三七二―一〇一七

ルノン 株式会社

代表取締役 藤井 正孝

〒141-0031 東京都品川区西五反田二―三〇
FAX 電話(〇三三)三三九二―一五八四
FAX 電話(〇三三)三三九二―一五八四

公益社団法人 インテリア産業協会

会長 檜木田 敦

〒160-0022 東京都新宿区新宿三一―二一
FAX 電話(〇三三)五三七九―八六〇五
FAX 電話(〇三三)五三七九―八六〇五

シンコール 株式会社

代表取締役 池田 卓憲

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛一―七一
FAX 電話(〇三三)三七〇五―一五二二
FAX 電話(〇三三)三七〇五―一五二二

立川ブラインド工業 株式会社

代表取締役 池崎 久也

〒108-8334 東京都港区三田三一―一三
FAX 電話(〇三三)五四八四―一六二〇
FAX 電話(〇三三)五四八四―一六二〇

株式会社 美柳

代表取締役 鍵和田 朋幸

〒164-0012 東京都中野区本町二―四八
FAX 電話(〇三三)三三七二―七三三
FAX 電話(〇三三)三三七二―七三三

ロンリー工業株式会社

代表取締役社長 西岡 秀明

〒105-0021 東京都港区東新橋二―三一
FAX 電話(〇三三)六四五一―八一九七
FAX 電話(〇三三)六四五一―八一九七

北 北 北

日装連単組
レポート

南 南 南

から

Dec. 2025

12

北海道ブロック

北海道

東北ブロック

青 森

3日 対馬理事長と事務局にて事業運営打合せ。

11日 対馬理事長と事務局にて事業運営打合せ。

16日 対馬理事長と事務局にて事業運営打合せ。

23日 三役会を開催。中村理事長、鈴木副理事、本間副理事、藤田専務理事、事務局

26日 仕事納め。

岩 手

8日 建設業のための女性活躍とハラスメントセミナー。15名参加。講師・山本正人氏（特定社会保険労務士・中小企業診断士）。

17日 青年部ボウリング大会・忘年会開催。組合員7名、賛助会員6名、事務局が参加。

宮 城

4日 第2回役員会（書面開催）。理事8名、監事2名が出席。議題・組合、協力会加入脱退承認について。

16日 理事長・副理事長会議開催。理事長、副理事長3名が出席。議題・ラベル状況と収支報告今後の組合運営

23日 三役会を開催。中村理事長、鈴木副理事、本間副理事、藤田専務理事、事務局

26日 仕事納め。

秋 田

23日 三役会を開催。中村理事長、鈴木副理事、本間副理事、藤田専務理事、事務局

26日 仕事納め。

福 島

15日 県北支部青年部会兼忘年会。11名が参加。

茨 城

10日 防火壁装講習会及び防火業務講習会開催。午前42名、午後46名が受講。

12日 理事長同行鹿行地区、県央地区年末挨拶。

23日 役員会議を開催。白田理事長、小野瀬専務理事、事務局山口氏が出席。年末年始来年度行事確認、打ち合わせ。

が出席。

山 形

12日 第209回理事会開催。野口理事長他理事合わせて8名が出席。議題・事業並びに会計報告。日ID社内検定報告。日装連東北ブロック会議報告。日装連全国組合理事長会報告。高所作業車講習会収支報告。組合50周年記念事業収支報告。その他今後のスケジュールについて。

同日 組合忘年会開催。

23日 三役会を開催。中村理事長、鈴木副理事、本間副理事、藤田専務理事、事務局

26日 仕事納め。

千 葉

9日 随時実施技能検定実技試験（カーペット）3級検定。受験生3名。講師・磯野富生氏。

15日 令和7年度更新防火業務、防火壁装講習会。【防火業務講習】講師・千葉県防火機管理本部消防課予防・石油コンビナート班主事徳本亮久氏。【賛助会員様によるご案内】東り（株）千葉営業所所長鈴木裕介氏、東り壁装講習】講師・三多摩室内装飾事業協同組合代表理事・（株）テクノ大誠代表関好文氏。

18日 随時実施技能検定実技試験（フラスチック系床仕上げ）3級検定。受験生6名。講師・磯野富生氏。

22日 税理士打合せ。半期決算打合せ。

22日 総務委員会を開催。池上委員長他委員2名、事務局2名、合計5名が出席。内容・東装協収益改善策について。

同日 流通研究会を開催。酒井会長他委員6名、事務局1名、合計8名が出席。内容・2025年度視察研修会報告と次年度事業の検討。

8日 広報委員会を開催。安田委員長他委員5名、事務局3名、合計9名が出席。内容・2026年度新聞広告料と新聞1月号及び2月号の紙面構成についての検討。

10日 正・副理事長会を開催。椎津理事長、副理事長4名、事務局2名、合計7名が出席。内容・12月定例理事会の議題についての確認。

同日 12月定例理事会を開催。椎津理事長、副理事長4名、理事11名、監事1名、事務局2名、合計19名が出席。内容・組合員加入・脱退承認の件、2026年新年賀詞交歓会開催の件、東装協収益改善策について、第182回防火壁装・防火業務講習会開催の件他を審議。各委員会報告と日装連関連の報告。

16日 第181回防火壁装・防火業務講習会開催。再講習21名、新規10名、合計31名が参加。

22日 工事研究会ラベンチミーティング開催。椎津理事長、原会長他委員2名、事務局1名、合計5名が出席。内容・コントラクト市場における情報交換と田島ルーフィング（株）玉工場見学会についての検討。

27日 理事会を開催。理事11名、監事1名、合計12名が出席。内容・各委員会より。その他。

神 奈 川

3日 令和7年度防火壁装講習会（臨時・新規）。講師・渡邊専務理事。新規取得1名

24日 会報誌インターネット

5日 神奈川県団体中央会冬季役員懇話会に福本理事長が出席。

8日 外国人技能検定。プラスチック床仕上げ工事随時3級2名、基礎級1名、カーペット床仕上げ工事基礎級4名受験。長澤理事、田子理事を検定委員として派遣。

16日 被災者支援のための訓練ワークショップ。行政・社協・NPO・各種団体による災害時を想定した活動の訓練計画及び効果予測等の検討ワーキング。渡邊専務理事が出席。

17日 第417回定例理事会を開催（Zoom）。報告事項・神奈川県知事表彰受賞報告の件。令和7年度防火壁装施工管理者資格更新講習会開催の件。

18日 新川支部役員会。飯野支部長ほかが出席。

25日 随時3級壁装技能検定（受験者3名）。検定委員・川口衛氏、補佐員吉田幸裕氏。

26日 組合事務所仕事納め。

1日 石川県建設産業功労者表彰（令和7年度優良建設功労者知事表彰）表彰式。受賞者・本澤秀一氏（株）本澤室内装飾）。

3日 三役会開催。議題・パンフレット打合せ。その他。田中昭文堂印刷（株）宮坂氏、三役4名が出席。

が受講。

山 梨

3日 第63回技能五輪全国大会表敬訪問。桜井彰一選手団長が出席。貴金属装身具職種金賞・土田里彩子氏、

同日 令和7年度技能検定合格者合格証交付式。宮理事長、石川県内装仕上技能士会、池田町立八幡小学校。栗田副委員長、小石委員を指導者として派遣。内容・6年生が職業講話、制作実演、体験活動後にもづくりマイスターと交流。

11日 岐阜県中央会会報誌取材。虫賀理事長、中央会担当職員が出席。内容・会報誌に組合紹介記事掲載の取材。

同日 岐阜県立岐南工業高等学校の実技指導を実施。講師・荻野理事、松田理事、伊藤氏、長谷川氏、大洞氏、鷺見氏、西垣氏、虫賀理事長。内容・（座学）内装業の紹介、直角裁断法、壁装実技指導。建築工学科1年生32名に実施。

10日 日装連情報・流通委員会に鷹尾理事長が出席。

22日 愛知県中小企業団体中央会有志忘年会。鈴木理事長出席。26日 仕事納め。

9日 三役会開催。

岐 阜

10日 2025年「未来の技能者育成事業」体験授業。場所・池田町立八幡小学校。栗田副委員長、小石委員を指導者として派遣。内容・6年生が職業講話、制作実演、体験活動後にもづくりマイスターと交流。

11日 岐阜県中央会会報誌取材。虫賀理事長、中央会担当職員が出席。内容・会報誌に組合紹介記事掲載の取材。

同日 岐阜県立岐南工業高等学校の実技指導を実施。講師・荻野理事、松田理事、伊藤氏、長谷川氏、大洞氏、鷺見氏、西垣氏、虫賀理事長。内容・（座学）内装業の紹介、直角裁断法、壁装実技指導。建築工学科1年生32名に実施。

10日 日装連情報・流通委員会に鷹尾理事長が出席。

22日 愛知県中小企業団体中央会有志忘年会。鈴木理事長出席。26日 仕事納め。

9日 三役会開催。

長 野

3日 大原理事長が長野県中央会講演会に出席。

17日 大原理事長が長野県中央会会報誌「中小企業レポート」の取材対応。

8日 鈴木理事長叙勲祝賀会打合せ。内容・祝賀会に向けての打合せを実施。小野実行委員長以下4名が出席。

10日 日装連情報・流通委員会（リモート）。鈴木理事長出席。11日 令和7年度前期技能検定合格証書交付。合格者・壁装1級3名、2級4名、化粧フィルム2級1名合計8名。

同日 愛知県中小企業団体中央会常勤役職員年末懇親会。鈴木理事長以下8名が出席。

15日 鈴木理事長叙勲祝賀会第1回実行委員会。内容・祝賀会に向けて第1回実行委員会を実施。小野実行委員長以下7名が出席。

同日 愛装協常任理事会会・忘年会。内容・本年度事業の総括と慰労。計8名が出席。

19日 日装連常任理事会に鈴木理事長が出席。

22日 愛知県中小企業団体中央会有志忘年会。鈴木理事長出席。26日 仕事納め。

9日 三役会開催。

三 重

9日 三役会開催。

26日 仕事納め。

9日 三役会開催。

近畿ブロック

滋賀

4日 第3回理事会開催。

京都

3日 理事会・忘年会を開催。理事が出席。
22日 技能士会忘年会開催。白石理事長、内海副理事長、林技能士会長、植松理事他が出席。

大阪

5日 理事会開催。鈴木理事長以下理事16名が出席。
7日 夢の家お仕事体験フェスティバル(青年部参加行事)。小坂田青年部会長以下部員18名及び林田専務理事が参加。※小学生以下の子どもたちに「クロス」「フィルム」の体験指導を行う。

合同開催。受講者・大阪組合員4名。10月、11月の講習で欠席した受講者に対するビデオ講習を実施。
19日 日装連常任理事会。大石副理事長・小坂田顧問が出席。
25日 中央技能検定委員会。大石副理事長、森本監事が出席。
27日 1月4日 事務局年末年始休業。

兵庫

2日 播磨支部忘年会。組合員・賛助会員20名が参加。
4日 理事会を開催。新年互例会の件。技能士会主催講習会の件。理事会終了後、役員忘年会開催。

奈良

記事事項なし

和歌山

3日 三役会議開催。東端理事長、浦口副理事長、松坂副理事長、谷本専務理事、事務局が出席。
17日 紀の国わかやまものづくりフェア2025第3回出展団体担当者会議。松坂副理事長、安中理事が出席。

中国ブロック

鳥取

1日 鳥取県職業能力開発協会第2回理事会及び臨時総会に杉内理事長が出席。
6日 中国ブロック青年部会意見交換会に

しまね

1日 全国中小企業団体中央会主催価格転嫁・取引環境改善オンラインセミナー。三島理事長、事務局オンラインにて受講。
3日 東部支部役員会開催。
同日 青年部役員会開催。
4日 国土交通省中国地方整備局建設部建設産業課意見交換会。中国ブロック会岡田会長他7名が出席(しまね組合三島理事長長出席)。

兵庫

6日 中国ブロック青年部意見交換会・懇親会。中国ブロック各単組から合計7名出席(しまね組合・松尾会長以下計12名出席)。来賓・しまね組合三島理事長。

岡山

12日 鳥根県中小企業団体中央会主催「組合員の取引環境改善に向けた団体協約(組合協約)」講習会。三島理事長、長岡副理事長が参加。事務局オンライン参加。

四国ブロック

徳島

10日 若年技能者人材育成事業(ものづくりマイスター派遣)※タイトルカーペット切り合わせ。会場・鳴門市黒崎小学校。織原理

広島

4日 国土交通省中国整備局意見交換会(中国ブロック会)に岡田理事長、金行専務理事、平副理事長、養田理事、平野理事出席。建設業法、入契法改正などの情報提供を受け、意見交換を行った。
《青年部会》
6日、7日 卸町祭り参加。青年部会員のべ20名が参加。各事業所で、余ったタイトルカーペットやフロアタイルなどバザー形式で販売。
6日、7日 中国ブロック青年部意見交換会(鳥根県)に世良会長と沼田副部長が出席。

山口

4日 臨時防災業務壁装講習会。1名が受講。講師・林哲史氏。
5日 中国地方整備局建設部建設産業課と日装連中国ブロック会の意見交換会に横田理事長出席。
6日 日装連中国ブロック青年部意見交換会(鳥根県)に田中部長、矢原副会長が出席。

香川

長表彰・龍水正樹氏。織原理理事長、龍水理事が出席。
2日 中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会。事務局が出席。
4日 第380回理事會、忘年会開催。藤井理事長他15名が出席。
5日 令和7年度香川県建設専門工事業安全大会。藤井理事長、上原理事が出席。
9日 防災業務臨時講習会。講師・本郷副理事長。1名が受講。
同日 防火壁装臨時講習会。講師・仲山副理事長。1名が受講。
10日 中央会若手経営者セミナー、組合青年部交流会。高橋次世代理事、本郷副理事長、二宮理事が出席。
同日 高松東支部会開催。10名が参加。
11日 中讃支部会開催。

高知

2日 定例理事会を開催。議題・パンフレット作成等について。結果・印刷前の最終確認を実施。久保理事長他11名が出席。
同日 高松協忘年会を開催。久保理事長他37名が参加。
23日 定例四役会を開催。議題・パソコン購入について。結果・見積確認。久保理事長他3名が出席。

福岡

1日 福岡県中小企業団体中央会へ月次情報連絡票(11月分)を提出。
3日 福岡県中小企業団体中央会第3回理事會。松山理事長が出席。
4日 福装協3支部合同忘年会とゴルフコンペを開催。【忘年会】参加者・福岡支部、北九州支部、筑後支部から18名。【ゴルフコンペ】参加者・3支部から19名。
5日 福岡県中小企

九州ブロック

熊本

8日 熊本県技能士会連合会理事會。中野副理事長が出席。
12日 三役会を開催。三役4名が出席。

大分

7名が参加。
13日 西讃支部会開催。4名が参加。
17日 高松西支部会開催。9名が参加。
5日 創立60周年実行委員会開催。須川理事長他6名が出席。
5日 I AえひめNo.102編集会議(第2回)。伊藤幹事他12名が出席。
2日 中央会青年部講習会に永田青年部長が出席。
12日 中央会主催セミナーに、事務局が出席。
22日 九州ブロック理事長会(リモート開催)に今泉理事長が参加。
同日 理事長・事務局打合せ。
23日 青年部・事務局打合せ。

佐賀

2日 中央会青年部講習会に永田青年部長が出席。
12日 中央会主催セミナーに、事務局が出席。
22日 九州ブロック理事長会(リモート開催)に今泉理事長が参加。
同日 理事長・事務局打合せ。
23日 青年部・事務局打合せ。

長崎

16日 防災業務及び防火壁装講習会の追加講習会を開催。2名が参加。講師・防火壁装末次氏、防火壁装喜多氏。
18日 中央会主催インボイス対策と組合の決算実務講習会に事務局が参加。

鹿児島

8日 中央会創立70周年記念式典。田中理事長、園田専務理事が出席。
11日 総務委員会(組合新聞編集作業)。奥総務委員長、迫田副理事長、福岡理事、上村理事が出席。

宮崎

1日 組合員、賛助会員へ令和8年新年互礼会の案内をFAX。
22日 日装連九州ブロック理事長会(リモート会議Zoom)。
同日 成良理事長・事務局長で業務打ち合わせ。
29日 仕事納め。

沖縄

8日 顧問税理士による会計確認。前畑理事長、事務局長が出席。
11日 役員会及び懇親会開催。前畑理事長他6名が出席。
16日 宮崎県中小企業団体中央会担当者(新濱氏)来訪。事務局長が出席。
同日 年末年始事務局休業のお知らせ文書発送。

伊豆

23日 通帳残高及び帳簿残高の照合確認(11月分)。泰監事が出席。
24日 伝票書類・会計帳簿等点検確認。藤原専務理事が出席。

伊豆

8日 顧問税理士による会計確認。前畑理事長、事務局長が出席。
11日 役員会及び懇親会開催。前畑理事長他6名が出席。
16日 宮崎県中小企業団体中央会担当者(新濱氏)来訪。事務局長が出席。
同日 年末年始事務局休業のお知らせ文書発送。

給食施設・厨房向け

[防滑性ビニル床シート]

ロンレイドAS コンフォート

新たに 抗ウイルス性 がプラスされ リニューアル!

POINT!

1 抗ウイルス性

2 防滑性

3 HACCP International 認証取得

Renewal

1 抗ウイルス性

2 防滑性

3 HACCP International 認証取得

QRコード

ロンシール工業株式会社

www.lonseal.co.jp

詳細はホームページへ

SIAA

ISO 21702

抗ウイルス加工

HACCP INTERNATIONAL

FOOD SAFETY

CERTIFICATION

心ときめく空間造りで、
人々の心と暮らしを豊かにします。

LIC.Co.Ltd

一步先に行く 感動品質の対応

全国 51 拠点より、高品質で温かく
親身な対応を目指します。

700 社以上の取扱いメーカー

お客様の要望にお応えする製品や
施工に関する情報をご提供いたします。

新規お取引先様
募集中

「環境を考え快適で安全な空間創造に貢献する」
インテリアと住設・建材の総合商社

取扱商品

カーテン・ブラインド等窓廻り、壁紙・化粧シート
床材・カーペット、家具・事務器、照明、副資材
金物、住設・建材、エクステリアその他

ウェブサイト

QRコード

リック株式会社

最前線 探訪

105

九州ブロック

今回の取材の様様



内装業界を取り巻く環境が大きく変化し課題が山積している中で、各県の組合事業のみならず、より大きな枠組みとしてブロックの役割が非常に重要になってきている。

今号では、東北ブロックに続き九州ブロックの活動状況について紹介したい。

取材では、九州ブロックの拠点である福岡組合事務局に伺い、九州ブロック長の村上浩二氏と平田康晴福岡組合専務理事に加えて、オンラインにて佐賀組合・今泉昭博理事長

大分組合・成良宏理事長、宮崎組合・前畑智之理事長にもご参加いただき、九州ブロックの活動内容やブロック会が各県の組合に与える影響、今後の九州ブロックの在り方まで幅広い視点でご意見をいただいた。

ブロックの最大の意義は情報共有 理事長、事務局、青年部等が集結

「ブロックでの活動の意義は何と言っても情報共有です。ラベルの販売価格や賦課金の状況はもとより、各県

で取り組んでいる事業内容を報告し合ってお互い議論を積み重ねながら有益なものは自身の組合事業に取り入

れている。そうすることで九州全体の組合事業を活性化させていきたいと思っています」と語るのは村上ブロック長である。

九州ブロックでは、ブロック会を年2回の頻度で行っている。そのうち1回は福岡組合主催で行い、もう1回は九州各県の持ち回りでやっている。

ブロック会では、理事長が集まるパターンと理事長に加えて各県の事務局員が一堂に会するパターンがあり、そのときどきの状況に応じて行っている。さらに青年部についても、年1回「日装連九州ブロック青年部次世代連絡協議会」を行っているが、この会合とブロック会を合同で行うケースもあるという。

このように、会議の頻度はもとより、理事長だけでなくさまざまな立場の人が参加することで、あらゆる情報共有化されているのが九州ブロックの大きな特徴といえる。

もう一つ、九州ブロックの特徴となっているのが、ブロック長職が各県の持ち回りではなく福岡県に固定化されている点だ。事務局機能も福岡組合が継続的に担っているため運営もスムーズに進んでいる。例えば、ブロック会を開催する際に

は、各組合に事前資料の提出を求めているが、そうした事務作業も、いわば「慣れている」ため、会議自体も滞りなく実施できるようになるわけだ。

その事前資料では、基本情報として各フロアの販売価格、現在の賦課金の金額、壁装講習会の受講料などのほか、直近の組合事業におけるトピックとなるような事例を記載、それをもとに会議が進められていく。

「ラベル価格や賦課金は、本来全国統一であるべきですが、各県で事情が異なることもあり難しいと思います。しかしながら、ブロック内の組合で大きな差異があるのは望ましくないため、まずは設定価格の確認を継続的に行っていきます。その上で各県の活動内容などを発表し、情報共有を行います」

こうした継続的な情報共有は、九州ブロック内での事業の統一性に大きく貢献している。例えば、防火壁装ラベルへの社名印字に関しては、かなり早い段階から不正流用防止策としてブロック会に提議され、それが九州ブロックのスタンダードとなり九州全県で取り入れられている。

九州の施策統一化に重要な場 理事長同士の親交にも一役

現在、福岡組合で先行してスタートした電子申請システムの導入に関する情報共有が行われ、各県で導入が検討されている。

また昨年は、壁紙の仕入価格上昇に対して、メーカーに上代価格の引き上げを要求する要望書がまとめられ、日装連理事会への議題として提示された。

まさに組合単独では難しい施策について、ブロックとして取り組むことで改善・解決に向けて進められているわけだ。

こうした九州ブロックの存在意義について、今回ご参加いただいた理事長に伺うと、佐賀組合・今泉理事長は「佐賀組合を運営する上で、とても参考になります。ラベルの価格をどのタイミングで改定すべきか、そうした生の情報を定期的に聞けるのはありがたいです」と語る。また大分組合・成良理事長は「県単位では情報が限られていますから、情報交換ができる場があることはとても有益です。また理事長同士で親交も深まり率直な意見交換ができる点も重要ですね」と評価する。宮崎組合・前畑理事長も「他県との交流によって、見えていなかった課題が見えてきます。実務を担う事務局同士の交流もとても有意義です。わからないことがあれば、すぐに聞ける環境が大切ですね」とその意義を語った。

他方、ブロック会では日装連に対する要望を議論するケースも多いという。その中には、「現場の事情を反映した施策となっていない」、「中央の情報をいち早く地方に流すような仕組みを構築したい」といった厳しい意見も多い。

このような理事長の意見を受けて村上ブロック長は「各県の情報や要望を集約・整理して日装連に報告することが私の仕事だと思っています」と語る。

事務局の連携強化を模索 組合同士の信頼関係が不可欠

福岡組合を中心に各県の連携がとて強い九州ブロックであるが、今後の方向性について村上ブロック長は「これからの組合運営を考えると、BCPの考え方を踏まえた、事務局同士の実務的な連携が不可欠になると思います」とのことだった。

例えば、コロナ禍では事務局機能が一時停止するようなケースがあったが、非常時だけでなく平常時であっても一人体制の事務局の場合は、病気や怪我などの理由でラベルが発行できない、といったケースも想定できる。その際に、近隣の組合が業務を代替できるような体制の構築が求められる。

現在、福岡組合が運営する「一人親方共済会」には、熊本組合と大分組合の組合員が入会しているが、こうした実務的なネットワーク構築を進めていくべく、現在議論がはじまっているという。

「このような連携を深めていくためには、そのベースに信頼関係が不可欠です。ブロック会の終了後は懇親会で大いに親交を深めています。先般の『日装連理事・全国組合理事長会』の懇親会では九州ブロックがテーブルに集結するなど、ずっと一緒に行動していました。組合同士の連携を深めていくためには、まずは信頼関係を築くことです」と語る村上ブロック長であった。



九州ブロック理事長会&事務局会議



懇親会



S

FLOOR

2025 - 2027
施設用床材

2025.12.11
RELEASE
約500点
掲載



人を支える、
空間を彩る。

sangetsu
Joy of Design

25-27 Sフロア デジタルカタログへ
株式会社 サンゲツ www.sangetsu.co.jp



インテリア情報アプリ

TOLI PRO

ビジネスユーザーに特化した 便利な機能がたくさん！

商品の検索のほかにも、カットサンプルや
サンプル帳の請求、AIによる施工イメージ
シミュレーションなどでもご利用いただけます。



いますぐ無料
ダウンロード



東リ株式会社
https://www.toli.co.jp